

農業問題

問 担い手の確保策は

答 「担い手協議会」を立ち上げる



太田 修議員

【今後の白馬村】

問 少子高齢化や若者の村外流出等により村税の減収が懸念される、農業の担い手確保策について伺います。

村長 現在農業法人3社と16人の担い手農家がありますが、今後担い手への集積を推進するために、「担い手協議会」を立ち上げ積極的に取り組みたいです。

問 観光客の減少に歯止めが掛からない状況下であり、今後通年観光を目的に魅力ある村づくりへの活性化策について伺います。

村長 集客数の減少に伴い、施設過剰な状態から、時代に対応した意識転換が必要であり、10年、20年後を見据えた論議を進める必要があります。

【観光振興対策】

問 地産地消を推進し、観光客等への消費拡大に繋げる直売所の確保について伺います。

村長 収穫期間が短く、常設施設は道の駅とハピアの2箇所、夏シーズンは十郎の湯、グリーンスポーツの森、岩岳ゆり園、さんさんパークで開設しています。

問 休耕農地を活用した体験型観光農園の推進や市民農園等への活用策について伺います。

村長 こども農山漁村交流プロジェクトによる体験学習の受け入れで田植えや

稲刈り体験を実施しています。今後、いつでも農業体験が出来る体験農園と耕作放棄地再生利用緊急対策交付金等を活用した耕作放棄地の市民農園化を検討していきたい。

問 観光客及び住民から疑問視する声が聞かれますが、観光局の場所が適当であるか伺います。

村長 観光局は、施設改修費の借金と借地料で新設は出来ない状況です。今後ノルウェービレッジの後利用と高規格道路の計画等にあわせた位置選定を模索していきたい。

【地域高規格道路】

問 住民の生命と財産を守る道として、また経済面での観光振興や通勤圏の拡大、新たな産業創出等の道であり、早期実現への進展状況について伺います。



農産物等直売所（道の駅白馬）

村長 ルート案公表後、概略設計を発注し、起点の長野道接続部、犀川横断部について協議していると聞いています。

問 住民説明会等の開催による、村内のルート

村長 調整について伺います。馬美麻線との交差点から通のチェーン脱着所までのルートを中心に検討を進めた